

「核兵器も運べる」戦争法案は廃案に！

大平議員・春名候補 志位委員長らと原爆碑に献花



8月6日早朝、志位和夫委員長を先頭にした日本共産党代表団は、広島市の平和公園内にある原爆碑に献花し、犠牲者を追悼しました。献花には、広島出身の大平喜信衆議院議員、参院比例候補の春名なおあき氏も参加しました。(写真)

「被爆70年ヒロシマデー」には、志位委員長が参加し、「核兵器のない世界」をめざすたたかいと9条を守るたたかいは「根っ子のところで深くつながっている」と強調し、「戦争法案」廃案を呼びかけました。

春名なおあき候補 猛暑のなか岡山で宣伝・つどい

原水禁世界大会が終わった6日の夕方、春名なおあき候補は岡山入りし、中区の旭竜地域の「つどい」で訴え。さらに7日午前中、南区福浜地域で「つどい」、午後には北区で「つどい」に参加し、戦争法案を巡る情勢と廃案への展望を熱く語りました。(写真)



北区のつどいで発言された中年の男性は、「いま私たちの子どもたちに、あのときお父さんはどうして戦争を止められなかったの？と絶対に言わせないようにがんばらねばと思っています」と語っていました。

「戦争法案阻止全国いっせい宣伝週間」へ総決起を！



戦争法案阻止のたたかいが日本列島全体に広がり、中国地方でも鳥取での1500人集会など各地で空前の取組みが生まれています。党中央は、「8月23日(日)から30日(日)」が「最大の山場の一つ」として「戦争法案阻止、全国いっせい宣伝週間」を提起しています。

「国会論戦」「志位講演」「しんぶん赤旗」報道を力に日本共産党として「空前」の宣伝行動を繰り広げるとともに「8月目標の達成」を必ず実現しようではありませんか。(写真は岡山駅前でする大平議員)

今年の終戦記念日(8月6日)の街頭宣伝はいつも以上に重要な宣伝行動になります。各機関、地方議員、支部がこぞって宣伝に取り組みましょう。